

専門医更新指定演題①

9月6日 (土)

A会場 13:30～14:30

『高齢者糖尿病とフレイル・認知症』

座長：今枝 憲郎 (名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 内分泌・糖尿病内科)

演者：荒木 厚 (東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科)

専門医更新指定演題②

9月7日 (日)

A会場 9:30～10:30

『血糖値を維持する新たな仕組み ～発見から応用へ～』

座長：田中 智洋 (名古屋市立大学大学院 医学研究科 消化器・代謝内科学)

演者：片桐 秀樹 (東北大学 SiRIUS (医学イノベーション研究所) /
東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝・内分泌内科学分野)

第99回 日本糖尿病学会中部地方会

会長企画②&Promote 委員会 コラボ企画

Day1 (9月6日)

糖尿病内科医の魅力を発信!

こんな指導医の先生方へのメッセージです!

若手のリクルートに困っている・・・どうやって声をかけるのが正解?
内科専門医のための J-osler 指導が大変だ・・・
糖尿病内科と言っていたのに皮膚科へ入局した?!

指導医の
先生方是非!



野見山 崇先生 (順天堂大学静岡病院)

「いざっ、NOW Diabetologist!」

萩原 大輔先生 (名古屋大学)

「名古屋大学糖尿病・内分泌内科における
入局者数の推移とその背景」

藤坂 志帆先生 (富山大学)

「糖尿病医を増やすために
～地方大学病院の取り組みと課題～」

澤村 俊孝先生 (浅野川病院内科)

「市中病院から糖尿病内科医を
目指してもらうための工夫と取り組み」

Day2 (9月7日)

糖尿病医の道をすすみ、未来の高みをめざす

糖尿病内科医のキャリアパスを考える!

現在の働き方との違いやメリット・デメリットをエキスパートから学ぶ

三浦 絵美梨 愛知医科大学医学部内科学講座

試行錯誤しながら築いたキャリア～選んだ結果の積み重ねで今がある～

島 孝佑 厚生連高岡病院

研究で磨いた視点で挑む!糖尿病重症化予防で地域を守ろう

浜田 けい子 名古屋市立大学医学部医学研究科

子育てと研究の日々を通して

服部 麗 糖尿病・甲状腺・内科はっとりクリニック知立

1 型糖尿病と歩む開業医の挑戦

吉岡 修子 公立陶生病院

「逃げない糖尿病内科医」をめざして～勤務医だからこそ味わえた楽しさ～

原島 伸一 御所南はらしまクリニック

広い視野と深いまなざし-DEI 時代の糖尿病医のあり方

共催：日本医師会

糖尿病医療者・研究者のダイバーシティを promoteする委員会シンポジウム

9月6日 (土)

A会場 14:50～16:00

『糖尿病内科医の魅力を発信!』

座長：笹岡 利安 (富山大学 学術研究部 (薬学・和漢系) 病態制御薬理学)

岡田由紀子 (春日井市民病院 糖尿病・内分泌内科)

演者：

『糖尿病医を増やすために～地方大学病院の取り組みと課題～』

藤坂 志帆 (富山大学 第一内科)

『いざッ、NOW Diabetologist !』

野見山 崇 (順天堂大学医学部附属静岡病院 糖尿病・内分泌内科)

『市中病院から糖尿病内科医を目指してもらおうための工夫と取り組み』

澤村 俊孝 (浅ノ川総合病院 内科 (糖尿病内分泌センター) / 金沢大学大学院
医薬保健学総合研究科 未来型健康増進医学)

『名古屋大学 糖尿病・内分泌内科における入局者数の推移とその背景』

萩原 大輔 (名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)

【概要】

「糖尿病内科に興味があると言っていたのに、気づけば皮膚科に入局していた…」 「J-Oslerが思った以上に大変で、内科医自体が敬遠されがちで…」 「勧誘の声かけ、これで合ってるのかな？」 ——そんな悩みを抱える指導医の先生方へ、糖尿病内科の魅力やキャリアパスを若手にどう伝えるか、一緒に考えるシンポジウムを開催します。働き方改革の影響もあり、いかに若手に“やりがい”と“成長の実感”を感じてもらえるかも鍵になります。医局や病院の方針だけでは語りきれない、現場でのちょっとした声かけや日々の関わり方が、若手の進路選択に大きく影響することも。このセッションでは、指導医としての悩みや工夫を共有しながら、明日から使えるヒントを持ち帰っていただけるような場を目指します。糖尿病内科医を増やすために、今こそ現場の知恵と経験を持ち寄り、次の世代へ魅力を伝えていきましょう。一緒に考える仲間として、ぜひご参加ください！

会長企画①

9月6日（土）

A会場 10:45～11:45

『糖尿病治療、その選択に迷う時：Pros & Consで考えるエビデンスと実臨床』

司会：高木 博史（名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 内分泌・糖尿病内科）

有安 宏之（静岡県立総合病院 糖尿病・内分泌代謝センター）

演者：

高橋 佳大（岐阜大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科）

戸松 瑛介（藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学）

小杉理英子（静岡県立総合病院 糖尿病内科）

瀧川 章子（富山大学附属病院 第一内科）

【概要】

本セッションでは糖尿病臨床において多く遭遇する下記2つのテーマについて、疑似症例の呈示を交えながら、複数の専門医がそれぞれの立場から本治療の利点（Pros）と欠点（Cons）について多角的に解説し幅広い視点から活発な討論を行う。

症例1

緩徐進行1型糖尿病疑い症例に対して初診時からインスリン治療を導入する？しない？しない場合の薬剤選択は？？

症例2

非肥満2型糖尿病症例に対して最初に選択する薬物治療は？

会長企画②

9月7日（日）

A会場 13:00～14:20

『糖尿病専攻医のためのキャリアを考えるシンポジウム 糖尿病医の道をすすみ、未来の高みをめざす』

司会：今枝 憲郎（名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 内分泌糖尿病内科）

小山 博之（名古屋市立大学医学部医学研究科 消化器・代謝内科学）

演者：

『試行錯誤しながら築いたキャリア
～選んだ結果の積み重ねで今がある～』

三浦絵美梨（愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科）

『子育てと研究の日々を通して』

浜田けい子（名古屋市立大学医学部医学研究科 消化器・代謝内科学）

『『逃げない糖尿病内科医』をめざして
～勤務医だからこそ味わえた楽しさ～』

吉岡 修子（公立陶生病院 内分泌・代謝内科）

『研究で磨いた視点で挑む！糖尿病重症化予防で地域を守ろう』

島 孝佑（厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科）

『1型糖尿病と歩む開業医の挑戦』

服部 麗（糖尿病・甲状腺・内科はっとりクリニック知立）

『広い視野と深いまなざし－DEI時代の糖尿病医のあり方』

原島 伸一（御所南はらしまクリニック 院長）

【概要】

糖尿病内科医を目指す若手医師が、自身の将来のキャリアパスを描く上で役立つことを目的としたシンポジウムである。大学病院勤務医・市中病院勤務医・Physician Scientist（医学研究者）・開業医が登壇しそれぞれのキャリア形成について、仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）を踏まえた経験談を語り、多角的な視点から議論を展開する。男性医師・女性医師それぞれのライフステージにおける課題や、性差を超えたキャリア形成のヒントまで、実体験に基づいた深掘りした議論を予定している。